

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和2年度分)

## < 県の評価等 >

施設所管部名: 子ども・福祉部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県身体障害者総合福祉センター (津市一身田大古曾 670 番地2)
指定管理者の名称等	社会福祉法人三重県厚生事業団 理事長 井戸畑 真之
指定の期間	平成 28 年4月1日～令和3年3月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの事業に関する業務 (生活援助棟としての業務、福祉センターA 型としての業務)</li> <li>・センターの施設及び設備の利用の許可等に関する業務</li> <li>・センターの利用料金の收受等に関する業務</li> <li>・センターの維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・その他センターの管理上必要と認める業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R 元	R2	R 元	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B			基本協定書及び年度協定書に規定する仕様に基づき適切に管理業務を実施するとともに、機器や設備に支障が生じないよう維持管理及び修繕を行っている。また、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じている。
2 施設の利用状況	B	B			運動施設の利用者数(R 元:23,038 人→R2:17,562 人)が大きく減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止になったことや、定期的な利用者の利用控えによるものであり、その点を考慮する必要がある。
3 成果目標及びその実績	B	B			<p>成果目標2項目のうち、日中活動系サービス利用率は目標値をやや下回ったものの、地域生活移行率は目標を達成した。引き続き、地域の潜在的なニーズの掘り起こしを行うとともに、個々のニーズに応じた取組を強化する必要がある。</p> <p>また、指定管理者が独自に設定した成果目標に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、2項目とも目標が達成できなかったが、感染対策を講じつつ工夫した運営を行っている。</p>

※「評価の項目」の県の評価 : 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次脳機能障がい者への訓練等の専門的・特徴的な訓練の実施、病院入院者や地域包括支援センター利用者のニーズ把握ときめ細かな対応を行うとともに、病院等関係機関への広報等、利用率の向上に向けた取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、日中活動系サービス利用率(日中活動延べ人数/年間稼働日数×日中活動利用定員)は令和元年度よりやや低下し 74.1%(11,732 人/264 日×60 人)だった。成果目標は 80%であることから、業務改善等を行い、目標を達成することが望まれる。</li> <li>・地域生活移行率(地域生活移行者数/施設退所者数)は 90.0%(18 人/20 人)と、成果目標の 50%を大きく上回り、通過型訓練施設としての役割を果たしている。</li> <li>・指定管理者が独自に設定した成果目標に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県障がい者スポーツ大会の一部の競技やふれあいスポレク祭が中止となったことから、参加人数が目標を達成できなかったが、毎回アンケート調査を実施し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら参加者の期待に応えられるよう運営を工夫するなど、事業の改善を重ねている。</li> <li>・利用者満足度は、利用者へのきめ細かな対応等が功を奏し、91.0%と高水準を維持している。</li> </ul> <p>以上のことから、三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理者として概ね適切に管理・運営を行っている判断する。</p>
--------	--

# ＜指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)＞

指定管理者の名称: 社会福祉法人三重県厚生事業団

## 1 管理業務の実施状況及び利用状況

### (1)管理業務の実施状況

#### ① 三重県身体障害者総合福祉センター事業の実施に関する業務

- ・センターの維持管理業務をはじめ、生活援助棟の業務として「施設入所支援」「日中活動支援」等の事業、また、福祉センターA型の業務として「リハビリテーション」「障がい者スポーツ」等の事業を実施した。
- ・成果目標に対する実績に関して、生活援助棟の日中活動系サービス利用率は新型コロナウイルス感染症による影響もあり、成果目標値 80%に対し 74.1%にとどまったが、地域生活移行率は 90%と成果目標値 50%を上回った。
- ・自主目標として掲げた2項目に関して、三重県障がい者スポーツ大会、フライングディスク・卓球(一般卓球)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。バレーボール(精神障害の部)は、荒天が見込まれたため中止。ボウリング・卓球(サウンドテーブルテニス)・ボッチャは予定通り実施され、選手 278 名、役員 332 名の参加があった。また、ふれあいスポレク祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、上記イベントの合計参加人数の目標値 2,500 名は達成出来なかった。また、福祉用具相談指導件数は 171 件で、新型コロナウイルス感染症による影響もあり目標値 300 件は達成出来なかった。
- ・障害者支援施設においては、施設入所 432 名、自立訓練(機能訓練)372 名、自立訓練(生活訓練)169 名、就労移行支援 56 名、生活介護 85 名の利用があった(月末実利用者数年間計)。
- ・リハビリテーションでは、通所・訪問等のリハビリテーションを実施し、7,691 件の利用があった。
- ・障がい者スポーツの推進では、定期的にスポーツ教室(参加者 147 名)を開催するとともに、三重県障がい者スポーツ大会を開催した。(陸上:11月7日三重県障がい者陸上競技記録会 2020 として開催。ボウリング:12月12日～13日、卓球(サウンドテーブルテニス):1月17日、ボッチャ:2月21日)
- ・施設貸出では、運動施設(野球場・テニスコート・ゲートボール場・体育館)、宿泊施設、研修施設の貸出において、1,479 件、21,165 名の利用があった。

#### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・維持管理については、仕様書に基づき委託し、施設及び設備について適正な管理を実施した。
- ・修繕については、生活援助棟訓練室前(新棟と旧棟との境目)漏水修繕、グラウンド内水銀灯修繕など計 87 件の修繕を実施した。

#### ③ 県施策への配慮に関する業務

- ・利用者(障がい者)の人権尊重への取組として、意見箱投書に対し直接回答及び文書回答を行った。
- ・職員補充の際には、男女共同参画の観点をつまえて公募するとともに、育児休暇取得等の環境整備に努めた。
- ・次世代育成支援として、スポーツ・研修施設の利用並びに小中学校総合学習、相談支援等を行った。
- ・福祉用具(自助具)の相談・製作等支援、住宅改修の研修開催等、ユニバーサルデザインのまちづくり推進に寄与した。

#### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・情報公開については、法人情報公開実施要綱に基づき運用を図ったが、開示請求は 0 件であった。
- ・「個人情報保護に対する基本方針」及び「個人情報の保護に関する法律に基づく公表事項」を窓口にて公表した。
- ・施設利用者の個人情報の管理について、書類は施錠できる書庫に、デジタルデータはアクセス権を制限するなど、管理を徹底した。

#### ⑤ その他の業務

該当なし

### (2)施設の利用状況

施設の利用状況(延利用者数)については、下記のとおりである。(単位:人)

	R 元	R2
施設入所支援	14,304	13,583
日中活動支援	11,483	11,732
短期入所	141	98
運動施設	23,038	17,562
宿泊施設	0	0
研修施設	6,168	3,603

## 2 利用料金の収入の実績

利用料金の収入の実績は下記のとおりである。(単位:円)

	R 元	R2
支援費	173,821,803	167,401,641
診療報酬	8,314,039	8,667,924
介護保険	12,107,625	10,594,354
運動施設	1,352,015	1,128,525
宿泊棟	0	0
計	195,595,482	187,792,444

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R 元	R2		R 元	R2
指定管理料	145,759,000	141,466,000	事業費	52,472,771	40,572,149
利用料金収入	195,595,482	187,792,444	管理費	421,987,119	383,090,114
その他の収入	127,702,091	137,074,237	その他の支出	2,390,448	3,249,888
合計 (a)	469,056,573	466,332,681	合計 (b)	476,850,338	426,912,151
収支差額 (a)-(b)	△7,793,765	39,420,530			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

## 4 成果目標とその実績

成果目標	1 日中活動系サービス利用率 80%【日中活動延べ人数/年間稼働日数×日中活動利用定員】 2 地域生活移行率 50%【地域生活移行者数/施設退所者数】
成果目標に対する実績	1 日中活動系サービス利用率 74.1% 2 地域生活移行率 90%
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中活動系サービス利用率は 74.1%(11,732 人/264 日×60 人)で、新型コロナウイルス感染症による影響により目標値 80%を下回った。今後も、支援部ケースワーカー及び高次脳機能障害支援コーディネーターを中心に病院入院者や地域包括支援センター利用者のニーズ把握に努めるとともに、利用案内や広報誌の作成、チラシ・PR ビデオを活用してニーズの掘り起こしと施設の PR に努め、関係機関と連絡を密にして利用率を高める。</li> <li>一方、地域生活移行率は、90%(18 人/20 人)であり、目標値 50%を大きく上回った。近年はグループホームやサービス付き高齢者向け住宅の拡充などにより、生活支援が必要な方も地域に戻られる方が増えている。引き続き、個別支援計画に基づいて地域移行支援を実施し、通過型訓練施設としての役割を果たしていく。引き続き、簡易自動車運転シミュレーターによる評価・パソコン訓練等、利用者ニーズに合わせた取組を強化していく。</li> <li>なお、基本協定に基づく上記成果目標に加え、2項目の自主目標を設定した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響により三重県ふれあいスポレク祭が中止、また三重県障がい者スポーツ大会の一部競技も中止になり、参加人数の目標値 2,500 名を上回ることは出来なかった。引き続き、社会参加の推進を図るとともに、競技性の向上を視野に入れながらスポーツイベントを開催していく。また、福祉用具相談指導件数は 171 件で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値 300 件は達成出来なかった。引き続き、障がいのある方が安全で快適な生活が送れるよう、福祉用具相談指導を実施していく。</li> </ul>

## 5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R元	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	三重県身体障害者総合福祉センター管理に関する協定に基づき、県担当課との協議のもと、適正に管理業務を実施した。 「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を行った。館内(共同部分や訓練室等)の消毒やパーテーション作成、空気清浄機等の備品購入、貸館休止に伴う調整等を行い、感染拡大防止に努めた。
2 施設の利用状況	B	B	生活援助棟に関しては、医療機関及び行政機関等と連携し、受傷後から社会復帰後の支援まで関わり、通過型訓練施設として利用者の社会復帰支援を実施した。 また診療に関しては、主に医療機関及び居宅介護支援事業所等と連携し、在宅障がい者、要介護者等を対象とした外来通院リハビリテーション、通所リハビリテーション等を実施した。
3 成果目標及びその実績	B	B	良質のサービスを提供し、利用者の満足度を高めるため、ニーズの変化に対応するバランススコアカードをツールに用いて事業運営を実施した。 実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院と施設間の連携が難しくなり、また通所者の利用控え等による欠席が多くなったことで、日中活動系サービス利用率が目標値に至らなかったが、地域移行定着率については、目標値を大きく上回った。

※評価の項目「1」の評価：  
「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 業務計画を順調に実施している。  
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：  
「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 当初の目標を達成している。  
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動系サービス利用率について、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は達成できなかったが、高次脳機能障がい者への訓練や、自動車訓練、日本情報処理検定協会検定試験の実施や受験支援等、専門的・特徴的な訓練を実施した。</li> <li>・地域生活移行率については、目標値を上回った。</li> <li>・三重県障がい者スポーツ大会について、社会参加の促進及び競技性の向上を視野に入れ、各種スポーツ団体と連携して実施した。毎回アンケート調査を実施し、官民参加の運営委員会を通じて事業の改善を重ねた。</li> <li>・自主目標について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県ふれあいスポレク祭が中止、また三重県障がい者スポーツ大会の一部の競技も中止になり、参加人数の目標値 2,500 名を上回ることは出来なかった。しかし、同大会の競技のうち、開催の調整がついたものについては、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』」に基づき、参加者の密を避けるため広い会場に変更したり、開催時間や日程を工夫し参加人数を分散させたりするなど、参加者の期待に応えられるよう開催方法を工夫しながら運営を行った。</li> <li>・福祉用具相談指導件数の目標値も新型コロナウイルス感染症の影響もあり達成出来なかったが、福祉用具展示の依頼や出張体験教室等を受け入れ、学校や関係機関に対する福祉用具の体験や製作を通じて普及啓発に取り組んだ。</li> <li>・医療保険、介護保険でのリハビリテーションについて、ニーズを分析しながら必要なりハビリテーションを効果的に実施した。</li> </ul> <p>上記の取組等により、利用者満足度は 91.0%となっており、昨年度に引き続き、高い水準を維持するとともに、指定管理業務を適正に実施した。</p>
--------	---